

ホセア 7:1 「わたしはイスラエルをどうしても赦したかった。」【リビングバイブル】

平成から令和に移った時、皇室についての様々な新聞や雑誌の記事を目にしましたが、明仁上皇が「平和を求め、被災地訪問を積極的になされたのは、少年時代のアメリカ人家庭教師からの影響があった」という内容が、いくつか書かれていました。その家庭教師とは、エリザベス・ヴァイニング夫人(1902-1999)。昭和天皇の「アメリカから、クリスチャンで」という希望によって、クリスチャンのヴァイニング夫人が明仁親王の英語家庭教師として訪日。単なる英語教師ということだけにとどまらず、その人生観にも大きな影響を与えたということです。ヴァイニング夫人については、杉村幸先生の著書『静かなヒーローたち』の中でも取り上げられています。

戦後間もない日本で、敵国アメリカ人のクリスチャンが皇室へ。これはものすごいこと。愛し合うこと、そして赦し、その力の大きさと大切さを改めて思わされることです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2019年5月19日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。
イザヤ 43:19

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

